

山寺ふるさと便り =第21号=

# 宝珠のしずく

題字 後藤仁田(性相院)

発行所 やまでら館

〒999-3301 山形市山寺517-1  
TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164

発行者 山寺地区振興会  
編集 宝珠のしずく編集委員会

## 輝け、山寺小中学校



諭し



贈りもの



山寺小「山寺物語」



しじ踊り



狩り



石切り踊り



山寺中「警司太鼓」

山寺小学校の子どもたちと教職員は、今年も、全校児童劇『山寺物語』を演じた。★「山寺物語」は、50を過ぎ、当時の小学校高学年児童は既に還暦を迎えている★そう言われてみれば、「私も、一年生の時、うさぎになって逃げまわった」、「あ、息子に動物の衣装をつくってやったっけ」と思い出される親御さんがおられるはず・・・である★山寺物語は、昭和44年（一九六九年）11月23日、秋晴れの暖かい陽ざしのもと、旧校舎のグラウンドで二百名余の全児童で演じた。これが初演である★「山寺物語」には、昭和39年（一九六四年）、創立記念日の学芸会で、当時の四年二組の子どもたちが自分たちの創作「シナリオ」で演じた前史もある★「山寺物語」の継続発表は、山寺小学校の貴重で確かな誇りうる山寺の文化活動である★六年間演じ、子ども達は山寺の歴史を体で学んでいる。真正正銘の山寺小学校の伝統である。この伝統が、山寺小学校の「天台のみち探索」活動を生み★山寺中学校の警司太鼓演奏（日本公務員弘済会山形支部の第10回山形未来賞受賞）、外国人対象のガイド活動へと進化してきた★今年、学校文化祭で、佐藤山形市長、荒澤教育長の激励を受けることができた。

☆ 輝け、山寺小中学校の文化活動!!

明治41年9月18日の山寺行啓で、東宮嘉仁親王（後の大正天皇）は、山寺の景観に感動、「もう一度来た」と、お言葉を残した。このお言葉が、山寺の振興・発展、観光山寺の契機となった。

この象徴として、行在所が「山寺行啓記念殿」として、麓からの眺望にも奥行きを感じさせ立石寺境内の最も眺めのよい場所に立っている。

行啓の実現に力を注がれた当時の村長伊澤三右衛門栄次氏は、「後世、子孫をしてその余栄を仰がしむべきかについて考慮を重ね実行を決めた」と、その著書に書きのこされた。

記念殿は落成時から既に100年を超し、文化財指定条件（築50年以上）を満たしていた。行啓への思いを後世に伝えた山形、天童、中山、山辺二市二町、地元山寺の先人達の強い思いをくみ、地元山寺が保存要望を山形市に請願した。平成28年11月21日、山形市は「山寺行啓記念殿」を



## 山寺行啓記念殿 山形市文化財に指定

82件目の「市文化財」に指定した。東北芸工大志村直愛教授、山形工科大学小幡知之教授の山寺行啓記念殿の調査報告書から、文化財としての価値を見てみよう。

『山寺行啓記念殿は★大正天皇行啓のためにだけに建てられたもので、全国的にみても山寺だけにしか存在しない★「記念殿」は御所紫宸殿を

手本にしている。当時の工事関係者の思いがうかがえる状態で残されている貴重な建物である★「記念殿」はオリジナル状態で保存され、日本近代史、建築史の研究にとって大きな意義をもっている。全国の同時期の建物のほとんどが重要文化財に指定されている。本建物も同等の価値を持つ★天井裏に残る棟札には、上棟が明治41年9月9日とある。行啓



天井裏の棟札



狐格子と桜懸魚(さくらげぎょ)



門扉(もんび)の桜



おまた石



幕下流水紅葉



きざはし



が内定したのが明治41年7月7日、行啓が9月18日、記念殿の竣工はその直前であったことを証明している。約二ヶ月で竣工させたのだから突貫工事だった。建築に携わった人物も特定できる★さらに、行啓からほぼ90年の間、毎年記念殿を活用し、行啓記念関係行事が行なわれてもきた★優れた意匠(デザイン)、構法、材料が随所にちりばめられている』

この度の「山寺行啓記念殿」の文化財指定を契機に、定期的な公開を実施し、広く市民に開かれた活用を検討していくことが、今後の山寺地区の課題なる。

既に、一昨年から一般公開二回、映画（3月のライオン）・テレビの番組撮影場所として活用。また今年記念事業が実施される。

座敷からの眺望



格天井と紙壁



卓・椅子・絨毯

平成28年5月10日、日本地質学会は「学術的に重要で、市民の多くが受け入れやすい石を選び、大地の歴史と成り立ちを知って、郷土の地質を愛して欲しい」(日本地質学会齋藤真常務理事談)という主旨で、47都道府県から各県三点の『県の石』を選定、発表した。

## 山寺のデイサイト凝灰岩 県の石に指定



と略す)は、約800万年前、陸化したつあつた奥羽山脈の山々が噴火した際の火砕流堆積物で、虫食い状の奇異な洞穴をつくるのがその特徴である。山寺の虫食い状の穴をもつ岩塊や河床に露出している岩盤等、すべてが凝灰岩である。山寺の景観は、この凝灰岩がつくっている。

山寺の凝灰岩は、その岩肌から奇岩怪石として、縄文の昔から「神と人間」、「死霊と生霊」を宿す聖石として信仰の対象になってきた。

『平安前期、マタギの頭領警司警二郎が支配していた山寺を、中央朝廷の命を受けた円仁が警司警三郎から譲り受ける。仏教で教化し、仏教の聖地にするため、山寺で最も大きな岩で香を焚き山々を浄めた。その岩が香の

『デイサイト凝灰岩』は、全国で見られる平凡な岩塊である。その石の代表として、山寺の凝灰岩が「県の石」に選定された。この意義を、我々山寺地区民はしっかりと受けとめ、今後の山寺振興に強く結びつけていくべき慶事である。

デイサイト凝灰岩(以後、凝灰岩

岩』と、山寺開山伝承は語り伝える。山寺を訪れた俳聖松尾芭蕉は、亡き人への思いを重ねながら凝灰岩の石段を踏み登り、秀句「閑さや岩にしみ入る蝉の声」を詠んだ。この「県の石」選定で、山寺の信仰、景観、史跡がグレードアップされ、輝きが増すよう期待したい。

## 元気な山寺 住みやすい山寺、前進

### ◆要望進展

今年度、積極的に行政当局に要望活動を行い、前進を見ることができた。

※ 道路では、市道中嶋線の改修が、平成29年度全線完成に目途がついた。

※ 県道山形山寺線宮崎地内歩道拡幅は、今年度に設計変更を行ない、平成30年度着工、完成に向け、具体的な事業推進がなされる見込みとなった

※ 有害鳥獣被害対策は、平成29年度から、山形市が捕獲等に直接かわる「鳥獣被害対策実施隊」を組織し、対策推進を強化することとなった。

※ 環境対策は、去所山一帯の悪臭対策については、地元山寺では臭気発生時の記録活動、山形市では先進的な畜産事業所の見学・調査活動を行うことになった。

### ◆山寺地内交流活動深まる

山寺地区歓送迎会、レクリエーション大会、敬老会、文化祭、新春顔合わせの集い等々、多くの参加者を得て交流を深めることができた。

### ◆『追分つつじ苑』整備進む

追分花壇を、山形県みどり推進機構の補助を受け『つつじ苑』に整備替えした。4月30日、山寺地区振興会役員総出で、五種類のつつじを植栽。その後、水やり・除草、雪囲い作業等を適宜実施した。

来年度以降、美しいつつじが咲き、山寺への観光客を楽しませることが期待される。



つつじの植栽



つつじの雪囲い

### 民生委員児童委員

(28年12月  
〜3年間)

○後藤 政悦(千手院)  
佐藤 恒也(青沢)  
増子 和宏(所部)  
遠藤比呂美・滝口 節子(主任児童委員)

### 新任

森谷 盛克(中地藏・地藏堂・宮崎)  
柏倉 健一(川原町・南院)  
小笠原 仁(馬形)  
退任  
石川 麗子・上野美智子・東海林庄六

# Congratulation!!

全国英語俳句大会 ~山寺芭蕉記念館~



**最優秀賞**…布施 聖長翔さん (山寺中2年)  
May sunshine  
waiting for food in the swallow's nest  
(五月晴れ えさを待つ口 つばめの巣)



**優秀賞**…中嶋 希美さん (山寺中3年)  
the sun is twinkling  
a cup of sunshine flows into a tulip  
(日の光 キラキラそそがれ チューリップ)



大会は、一般・大学生、高校生、中学生、外国人の4部門で約1,500句の応募があり、山形県内の受賞者は山寺中学生徒の2人のみでした。

## 今味わう、先哲の言葉

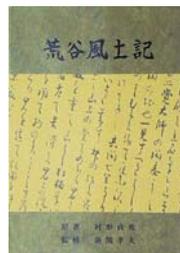
「つとめよ、つとめよ」

立石寺住職 清原 正田

天台宗の宗祖最澄様は、御生涯の最後に、弟子たちに向かって、「つとめよ、つとめよ」とおっしゃいました。自分自身のやるべき事を毎日、おこたる事なく、たゆまず続けなさい。その努力がやがて、きっと大きな成果を生むのです。決してなまけてはいけませんよ。

上梓された

郷土誌「荒谷風土記」



荒谷地区と山寺地区は、遠い昔、「阿蘇郷」と呼ばれ、宝珠山立

石寺の寺領であった。

明治21年8月1日付の自治制度施行で、荒谷村は山寺村と合併した。

その後、荒谷と山寺は同じ学び舎で「同郷のよしみ」を育んできた。

昭和31年6月1日に、荒谷地区と山寺地区は、同じ学び舎(山寺小学校、中学校)で勉強できなくなる分村という苦渋の選択をした。

新関孝夫氏は、上荒谷の同級生東海林敏雄氏他3名で編集委員会を立ち上げ、山寺小学校に勤められた村形貞英氏(荒谷出身)の遺稿「荒谷のあゆみ・六冊」を、昨年六月に「荒谷風土記」として上梓した。山形新聞等に、その書評が掲載された。監修を担当された新関氏は、「編集を通して、かつて同村の仲であった荒谷地区にこんなにも豊かな歩みがあったと初めて知ることができた」と話した。立石寺の寺領、かつて同じ村であった「荒谷地区の歴史」に興味と関心をお持ちの方は、是非、一読をお奨めしたい郷土誌である。

## 平成28年度 振興会役員

(敬称略)

- 会長 伊藤 忠 (中地蔵)
- 副会長 滝口 昇 (芦沢)
- 役員 矢萩昭夫 (南院)
- 武田忠男 (南院)
- 富樫政利 (中地蔵)
- 布施敏彦・布施秀雄 (地蔵堂)
- 矢萩和弘・松田正志 (宮崎)
- 後藤文男 (芦沢)
- 五十嵐秀夫 (川原町)
- 小笠原光男・後藤光之 (馬形)
- 武田信雄・武田政廣 (所部)
- 武田憲士・後藤武弘 (千手院)
- 滝口君雄 (芦沢)
- 水野 徹 (川原町)

## 表彰・受賞

- 民生委員児童委員市長感謝状 遠藤比呂美 (中地蔵)
- 山形市社会福祉協議会長感謝状 武田富士子 (千手院)
- 平成27年度県統計功労者 経済産業大臣表彰 後藤キヨ子 (地蔵堂)
- 協会長表彰 遠藤和彦 (中地蔵)
- 国勢調査感謝状 布施義彌 (宮崎)
- 遠藤和彦 (中地蔵)
- 遠藤貞雄 (馬形)
- 遠藤彌右衛門 (南院)
- 山形県統計協会感謝状 伊沢 浩 (芦沢)

## 全国大会出場

- 全日本クラブ卓球選手権大会(大阪市) 山寺小六年 遠藤海翔(川原町)
- 全日本大学総合卓球選手権(京都市) 東北大学三年 遠藤幸奈(南院)
- 全日本ジュニア新体操選手権(福島) 全日本新体操チャイルド選手権(東京) 山寺小六年 武田彩希(宮崎)

平成二十八年の物故者  
謹んでお悔やみ  
申し上げます

- 〈千手院〉 後藤 まさ殿 後藤うめ子殿
- 後藤 秀子殿 後藤ミツエ殿
- 〈所部〉 伊沢 やえ殿 寒河江幸三郎殿
- 武田 進殿
- 〈馬形〉 安藤 光一殿 佐藤つるゑ殿
- 〈川原町〉 遠藤とし子殿
- 〈南院〉 矢萩 末治殿
- 〈芦沢〉 柏倉 重子殿 伊澤 朝子殿
- 海谷 好雄殿 菅野 貞治殿
- 堀川 栄次殿
- 〈宮崎〉 原田正三郎殿 布施長四郎殿
- 〈地蔵堂〉 布施ひろ子殿 山田美和子殿
- 後藤 甫殿
- 小笠原市夫殿





山寺観光協会婦人部は、「山寺を訪れる観光客に、日本のひな飾りの華やかさを感じてほしい」と、根本中堂に「傘福」一対を奉納した。昨年10月から婦人部傘福製作講座に、山寺地内の20数名が参加。おひな様研究家安部英子氏の指導のもと製作。



# 「傘福」でおもてなし



初めて参加した伊藤京子さんは、「中吊り六つ花飾りの、一つ一つの花びらに綿を詰めて形を作っていく過程が大変むずかしかった。また、切り込みを入れ、色とりどりの布を組み合わせていく大吊りまり飾りは、緊張の連続。二つの飾りが完成した時はうれしくて、言葉が出なかった」と、満面の笑顔。

参加された皆さんの意気込みのぎつしり詰まった「傘福」。観光山寺振興の弾みになればと期待膨らむ。山寺の皆さんも、是非、見でけらしゃーい!!

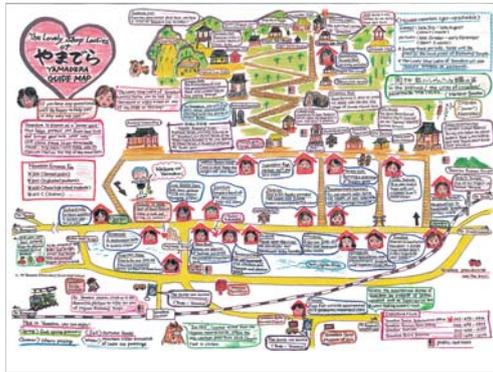
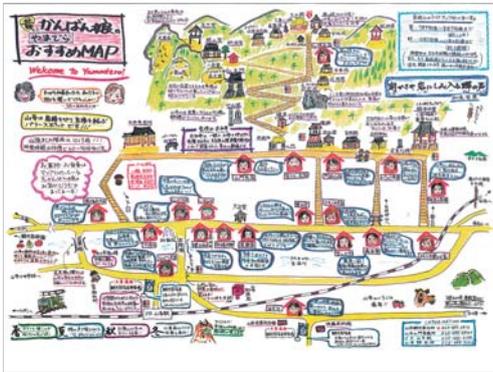
☆吊るし雛の風習は、全国でも珍しく、山形県では「傘福」と呼び、様々な意味合いの縁起物を吊り下げるのが特徴である。

※山寺観光協会婦人部傘福製作講座は、「山寺観光情報発信事業」の一つとして実施された。



初めて参加した伊藤京子さんは、「中吊り六つ花飾りの、一つ一つの花びらに綿を詰めて形を作っていく過程が大変むずかしかった。また、切り込みを入れ、色とりどりの布を組み合わせていく大吊りまり飾りは、緊張の連続。二つの飾りが完成した時はうれしくて、言葉が出なかった」と、満面の笑顔。

## 英語版『マップ』大好評!! ー山寺観光協会ー



平成28年から取り組んだ『昔かんばん娘のおすすめマップ』英語版完成。翻訳はリサ・ソマーズ氏の指導。マップのレイアウト、デザインはすべて、「昔かんばん娘」女性等の考案手書き。「かわいい」「わかりやすい」と、上々の評判。

### 市民企画展

#### 「絵葉書写真」に見る

#### 明治・大正・昭和初期の山寺の姿

「もう一度来てもらええ」山寺づくりを求めて。かつての絵葉書を拡大し展示。「こんなだったんだ!!」



### 編集後記

平成28年は、自然災害等の多い年であった。だが、リオ・五輪での活躍、「勇気と希望」を貰い奮い立たせる活動の多い年でもあった★私たちが編集委員は、山寺の皆さんが記憶し、記録に留めておきたい「山寺の出来事」を厳選し「宝珠のしずく」21号に編集した★是非、ご感想、ご意見を「やまでら館」にお寄せください★今年、山寺が慶事の多いことを祈念します。

#### 編集委員

- 新関 孝夫 布施 晶嗣
- 笹原 永吉 後藤 久
- 石川 進一 遠藤まき子
- 佐藤 正紀